

ミニメド™780Gへポンプアップデート※

はじめてみよう! 簡単切り替えガイド



ミニメド™770Gインスリンポンプ

ミニメド™780Gインスリンポンプ



※ポンプアップデートとは専用アプリを使用して、ポンプのソフトウェアをアップデートする方法です。770Gポンプから780Gポンプへの機種切り替えはポンプアップデートで行います。詳しくは、医療従事者にご相談ください。

2024年4月発行

本ガイドについて

- 本ガイドは、ポンプアップデートでミニメド780G (以下、780G) へ切り替え予定のユーザーを対象とした事前学習ツールです。
- 本ガイドは2部構成です。ポンプアップデート前に「1. 製品の違いを知る」で違いを学び、ポンプアップデート後、「2. ペアリングする」を参考にペアリングを進めましょう。
- 本ガイドとセットで動画をご用意しています。併せてご覧ください。
- 本ガイドは簡易的にミニメド770G (以下、770G) からの変更点をまとめたマニュアルです。必ず医療従事者から使用方法の説明を受けてから780Gの使用を開始してください。(電子添文とユーザガイドを併せてご確認ください。)



[動画はこちら](#)

基礎知識

ポンプアップデート前の基礎知識

- 重要! チェック** ● ポンプアップデート後、770Gの基礎インスリンなどの設定は全てコピーされ引き継がれます。780Gに変更後、再設定する必要はありません。
- 重要! チェック** ● 770Gの基礎インスリンの自動調整機能である「オートモード」は、780Gでは「スマートガード(スマートガードモード)」に名称が変更されます。
- 重要! チェック** ● 過去の注入履歴も引き継がれるため、ポンプアップデート後、最短5時間でスマートガードが開始できます。
- 重要! チェック** ● 770Gでは「スマートガード低グルコース(前)一時停止」でしたが、780Gでは「スマートガード」ではなく、「センサによる一時停止」に名称が変更されます。引き続き、770Gと同様にご使用いただけます。

770Gの設定

基礎1の変更		
開始	終了	U/hr
00:00	04:00	0.300
04:00	07:00	0.500
07:00	17:00	0.350
完了		

コピー



780Gの設定

基礎1の変更		
開始	終了	U/hr
00:00	04:00	0.300
04:00	07:00	0.500
07:00	17:00	0.350
完了		



780Gの使用方法、操作方法は770Gに似ていますが、異なる点や注意が必要な点があります。

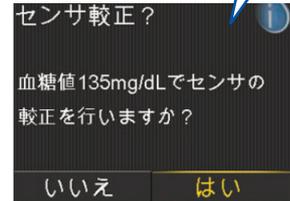
例えば、注入セット交換やセンサの装着方法などの手技は同じですが、トランスミッタとセンサの種類は変わり、校正などの使用方法は異なります。

本ガイドで、ポンプアップデート前に、主な変更点について確認しておきましょう。

780Gの2つの大きな変更点

定期的な較正不要

重要!
チェック



大きな2つの変更点

重要!
チェック

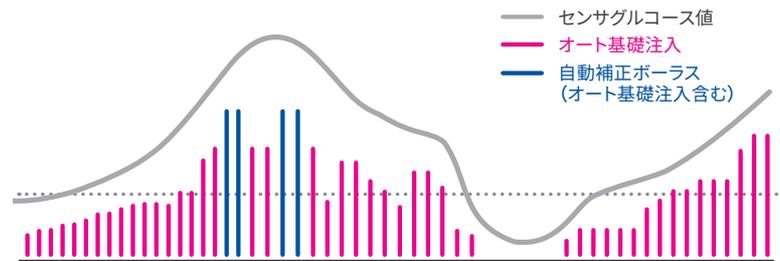
①ハイブリッドクローズドループに追加された自動補正

ハイブリッドクローズドループのオート基礎注入に**自動補正機能**が追加され、**アドバンスハイブリッドクローズドループ**として使用できます。**オート基礎では抑えることができない高グルコースに対し、自動で補正インスリンを注入する機能**です。**自動補正はオン/オフ**できます。その他のスマートガードの詳細は、P7以降でご紹介します。

自動補正

オート基礎では高グルコースを抑えられない場合、以下の4条件を全て満たすと自動で補正インスリンを注入します。

- センサグルコース値が120mg/dLを超えている
- オート基礎注入が最大量になっている
- 一時目標を使用していない
- 過去データによるシミュレーションによりシステムが必要と判断した時



②センサの定期的な較正は不要

新しいトランスミッタとセンサ (P3参照) は、**770Gで1日に3~4回程度実施してきた定期的な較正は不要**です。定期的な較正を行わなくても、**センサグルコース値を画面に表示することができます**。ただし、ポンプに入力した血糖値は全て較正に使われますので、適切な方法で血糖測定を行い、入力してください。

また以下の場合には、血糖測定を行い治療の判断をする必要があります。

指先での血糖自己測定が必要な場合

- スマートガードの開始時や継続のため必要とシステムが判断したとき
- アセトアミノフェンまたはパラセタモールを用いた解熱剤や風邪薬の服用をした*
- センサグルコース値が疑わしい
- センサグルコース値と自覚症状が異なる
- 血糖値入力が必要なアラートが発生 (要血糖値の入力など)
- マニュアルモードで補正ボラスを注入する前やボラスウィザードを使用する場合
- マニュアルモードにおける自動車などの運転前、就寝前

*アセトアミノフェンまたはパラセタモールを用いた解熱剤や風邪薬を服用すると実際よりセンサグルコース値が上昇する可能性があります。インスリンを自動調整するスマートガード使用中は、予め主治医と相談の上、スマートガードの終了を検討してください。

1. 製品の違いを知る

780Gの構成品

構成品(新しい物)

- 780Gには**ガーディアン4トランスミッタ**、**ガーディアン4センサ**のみが使用できます。
- センサの装着方法は従来と同じです。

インスリンポンプ



780Gにアップデートされたポンプ

重要! チェック
トランスミッタの表面が無地 (GL3などを書いていない) であることを必ずご確認ください

○ ガーディアン4トランスミッタ



ガーディアンリンク3トランスミッタ



重要! チェック
センサを取り出す前に、**ガーディアン4センサ**であることを必ずご確認ください。

ガーディアン4センサ



- Guardian 4
- MMT-7040

構成品(従来と同じ物)

- 注入セットとリザーバの交換方法は従来と同じです。

充電器



ワンプレスサータ



オーバルテープ



テストプラグ



注入セット(クイックセットまたはシルエット)



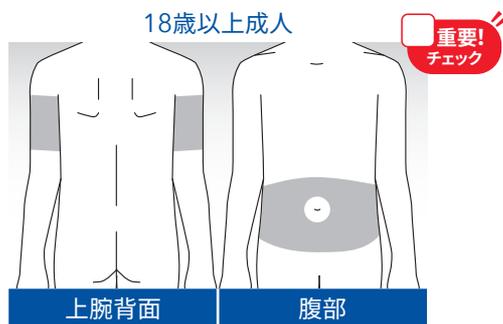
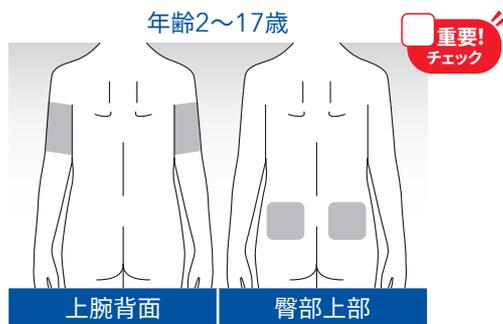
リザーバ



1. 製品の違いを知る

ガーディアン4センサについて

ガーディアン4センサ、ガーディアン4トランスミッタの装着方法、トランスミッタの充電方法は、770Gのトランスミッタ、センサと同じ方法です。センサの形状も変更ありませんが、年齢により装着部位が異なりますのでご注意ください。



※装着方法はユーザガイドを参照ください

- センサの交換頻度は**7日に1度**
- 十分に皮下脂肪がある部分をローテーション

Note:

避ける部位

- 屈曲部位
- 傷がある部位
- 皮下にしこりがある部位
- ヘソから5cm以内
- 注入セット装着部位から2.5cm以内
- 前回の装着部位から2.5cm以内

センサ装着、テーピングは適切に、丁寧に行いましょう。
スマートガードを正しく機能させるために重要です。

重要!
チェック

「センサ更新中」アラートが発生した場合は、
お待ちいただき、ポンプの指示に従ってください。

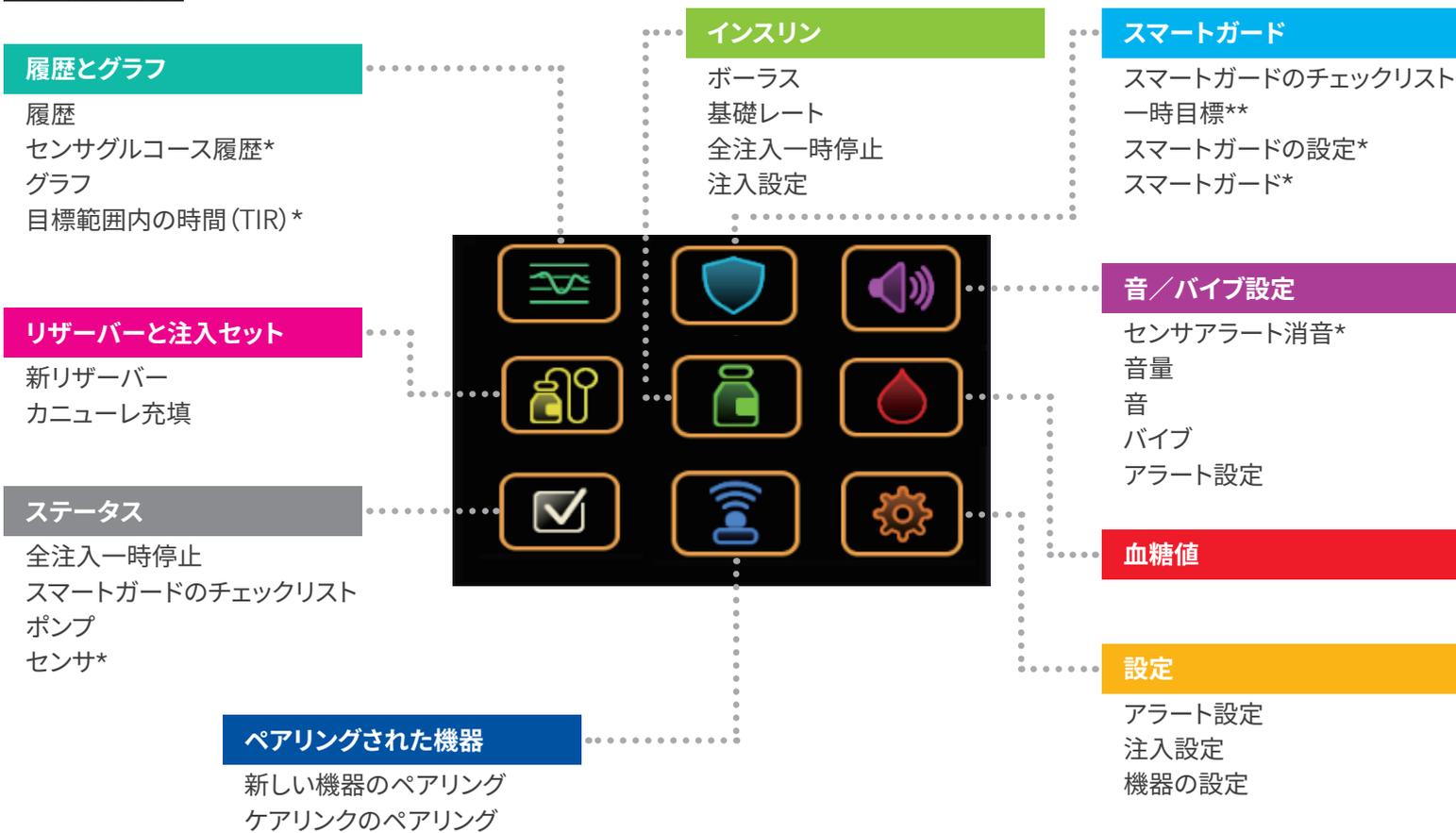
重要!
チェック

1. 製品の違いを知る

メニューの変更点



- ロック画面がなくなります。
- 9種類のアイコンでより見やすいメニューになります。
- イベントマーカー、ISIG履歴がなくなります。



* センサ機能がオンになっている場合に表示
** スマートガード機能がオンになっている場合に表示

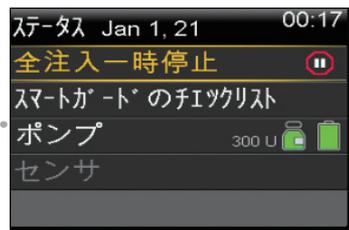
1. 製品の違いを知る

ショートカットキー

ホーム画面からの操作で3つのメニューを素早く立ち上げることができます。



ステータス画面



TIRの確認



ボラス



詳細説明は、P9を参照

1. 製品の違いを知る

スマートガードの変更点

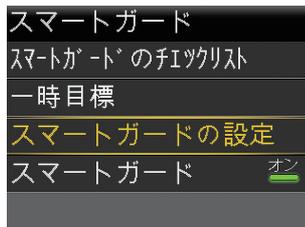
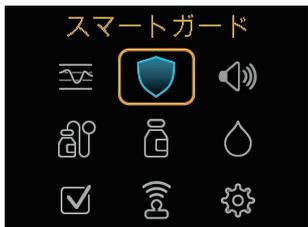
重要!
チェック

ポンプアップデート後の設定として、スマートガードの目標値と自動補正のオン/オフは、どのように設定するか、事前に主治医と必ず相談しておきましょう。

スマートガードの目標値、自動補正の設定方法

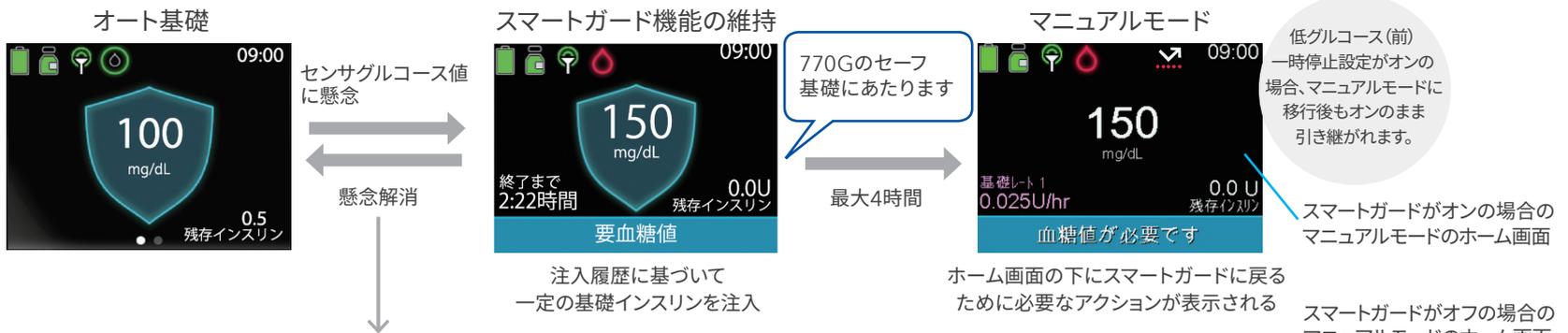
- 780Gは、スマートガードの目標値を100mg/dL、110mg/dL、120mg/dLから選択できます。
- スマートガードの目標値、自動補正機能のオン/オフは「スマートガードの設定」から変更できます。

初期設定
目標: 100mg/dL
自動補正: オン



スマートガードの移行フロー

780Gのスマートガードのオート基礎からマニュアルモードの移行フローについて確認しましょう。



懸念理由	アラート/対処
スマートガード機能が最小注入量の制限時間に到達。最小注入時間は3~6時間で、理由により異なる	要血糖値の入力アラート(最小注入)が表示される。血糖値を入力する
スマートガード機能が基礎インスリンの最大注入量を7時間注入し続ける	要血糖値の入力アラート(最大注入)が表示される。スマートガードチェックリストを確認。血糖値を入力する
グルコース値が実際のグルコース値よりも低い可能性がある	要血糖値の入力アラート(信頼性確認)が表示される。血糖値を入力する
グルコースデータを5分以上受信していない	対処が必要な場合は、センサ信号中断アラートまたは要血糖値アラートが表示される

スマートガード終了理由	アラート/対処
スマートガード機能の維持の状態が4時間経過した	要血糖値の入力アラート(最大注入)が表示される。スマートガードチェックリストを確認。血糖値を入力する
スマートガード機能をオフにした	要血糖値の入力アラート(信頼性確認)が表示される。血糖値を入力する
全インスリン注入停止から4時間以内に再開されない	要血糖値の入力アラート(信頼性確認)が表示される。血糖値を入力する
センサ機能はオフか、トランスミッタのペアリングが解除された	要血糖値の入力アラート(信頼性確認)が表示される。血糖値を入力する



1. 製品の違いを知る

スマートガードの変更点

スマートガードオンの画面

ホーム画面とセンサグラフの違いを確認しましょう。

780Gのホーム画面



音/バイブアイコンはホーム画面からなくなりました

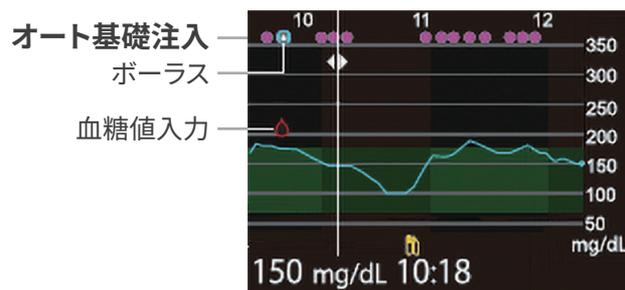
780Gのセンサグラフ



770Gのホーム画面



770Gのセンサグラフ



ボラス、血糖値、グルコース値、時間

1. 製品の違いを知る

スマートガードの変更点

スマートガードボラス

- センサグルコース値や血糖値の入力状況等で、ボラス画面が変わります。



ホーム画面から
下ボタンを選択すると
ボラス画面が
立ち上がる



利用できる直近の血糖値がないが、利用できるグルコース値はあり、補正インスリンの計算にグルコース値を代用する場合



利用できる直近の血糖値(過去12分間に入力されたもの)があり、補正ボラスの計算に血糖値を利用することができる場合



利用できる血糖値またはグルコース値がない場合



利用できる血糖値はなく、グルコース値はホーム画面に表示されているものの補正ボラスの計算に最適ではないとシステムが判断している場合

ボラス画面の「調整」は、センサグルコース値や血糖値の直近の値、変動傾向、これまでのインスリン投与量などをもとにポンプがシミュレーションし加算または減算すべき単位数が表示されます。低血糖予防のために、大きくマイナス調整される場合があります。

重要!
チェック

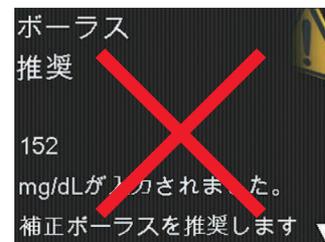
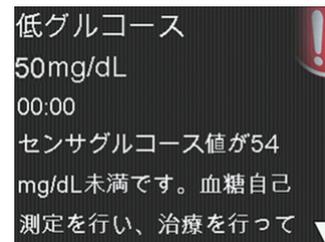
ボラス1.6 U
開始
✓

システムが計算したボラス量を変更し注入することはできません。

1. 製品の違いを知る

その他

- 低グルコースアラームは、54mg/dL以下で発生します。(アラート消音不可)
(※770Gは50mg/dL)
- 250mg/dLが3時間続く場合、高センサグルコースアラートが発生します。
(アラート消音不可)
- スマートガードのボラス推奨アラートがなくなります。
- スマートガードの一時目標(最大24時間)は設定可能です。一時目標設定時は、スマートガードの自動補正は注入されません。
- ミニメドモバイルアプリやケアリンク™コネクトアプリ、ケアリンクパーソナルは、引き続きご利用いただけます。
- また、iOSでミニメドモバイルアプリをご使用の場合は、Apple WatchにセンサグラフやTIRを表示させることができます。(P17参照)



Medtronic



Medtronic

1. 製品の違いを知る

780G vs 770G

780Gと770Gの製品機能の主な違いは以下の通りです。

項目	ミニメド780G (ガーディアン4センサ)	ミニメド770G (ガーディアンセンサ3)
HCL/AHCLの機能名称	スマートガード	オートモード
スマートガード/オートモード 年齢制限	7歳以上	2歳以上
オート基礎目標値	100mg/dLがデフォルト (100,110,120mg/dL より選択可) 150mg/dL (一時目標)	120mg/dL (固定) 150mg/dL (一時目標)
自動補正	あり (デフォルトはオン)	なし
スマートガードボーラス オートモードボーラス	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートガードボーラス ・糖質比、残存インスリンを主治医に相談し入力要 ・SG値を補正インスリンの計算に使用できる ・目標値は100～120mg/dL ※目標値はあるものの、過去データによるシミュレーションにより調整した値が表示される 	<ul style="list-style-type: none"> ・オートモードボーラス ・糖質比、残存インスリンを主治医に相談し入力要 ・補正インスリンの計算は血糖値が必要 ・目標値は100～150mg/dL
ボーラス推奨	なし	あり
スマートガード機能の維持 セーフ基礎の最大時間	最大4時間	最大1.5時間
低グルコースアラーム	54mg/dL以下	50mg/dL以下
高センサグルコースアラート	モードに関係なく発生 250mg/dL以上が3時間以上続くと発生	オートモード時のみ発生 300mg/dL以上が1時間以上、または 250mg/dL以上が3時間以上続くと発生
低グルコース (前) 一時停止	スマートガードからマニュアルモード移行時には 事前の設定は引き継がれる	オートモードからマニュアルモード移行時オフ

1. 製品の違いを知る

780G 設定方法早見表 その1

- こちらの早見表を確認しながら780Gの各種設定方法を確認しましょう。
- 操作手順がわからない場合には、別冊ミニメド780G版「はじめてみよう!インスリンポンプ」、「はじめてみよう!リアルタイムCGM」、「はじめてみよう!ハイブリッドクローズドループ」をご参照ください。
- ミニメド780Gの使用は、医療従事者の指導を受けた上で開始し、設定内容は主治医にご確認の上、設定してください。
- その他の設定については、医療従事者にお聞きいただくか、またはユーザガイドをご参照ください。

	設定内容	操作方法	はじめてみよう!マニュアル参照頁
<input type="checkbox"/>	音/バイブ設定	メニュー→音とバイブ	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P9参照
<input type="checkbox"/>	表示オプション	メニュー→設定→機器の設定→表示	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P9参照
<input type="checkbox"/>	ボーラスウィザード設定	メニュー→インスリン→注入設定→ ボーラスウィザード設定→ボーラスウィザード	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P41～42参照
<input type="checkbox"/>	残存インスリン時間	メニュー→注入設定→ボーラスウィザード設定→ 残存インスリン時間	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P9参照
<input type="checkbox"/>	基礎インスリン設定	メニュー→インスリン→注入設定→ 基礎レートパターン設定	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P11～12参照
<input type="checkbox"/>	デュアル/スクエア	メニュー→インスリン→注入設定→デュアル/スクエア	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P39～40参照

780G 設定方法早見表 その2

	設定内容	操作方法	はじめてみよう!マニュアル参照頁
<input type="checkbox"/>	ボーラス増減幅	メニュー→インスリン→注入設定→ ボーラス増減幅	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P9参照
<input type="checkbox"/>	最大基礎レート/ボーラス	メニュー→設定→注入設定→ 最大基礎レート/ボーラス	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P9参照
<input type="checkbox"/>	ボーラス注入速度	メニュー→設定→注入設定→ ボーラス注入速度	780Gはじめてみよう!インスリンポンプ P9参照
<input type="checkbox"/>	センサ機能オン	メニュー→設定→機器の設定→センサ	780Gはじめてみよう! リアルタイムCGM P9参照
<input type="checkbox"/>	スマートガード機能オン	メニュー→スマートガード→スマートガード	780Gはじめてみよう! ハイブリッドクローズドループ P6参照
<input type="checkbox"/>	スマートガードの設定 (目標血糖値と自動補正 の設定)	メニュー→スマートガード→スマートガードの設定	780Gはじめてみよう! ハイブリッドクローズドループ P6参照
<input type="checkbox"/>	センサによる 一時停止機能 CGMアラート設定	メニュー→設定→アラート設定→ 高グルコースアラート/低グルコースアラート	780Gはじめてみよう! リアルタイムCGM P31参照
<input type="checkbox"/>	機器のペアリング	メニュー→ペアリングされた機器→ 新しい機器のペアリング	780Gはじめてみよう! リアルタイムCGM P10参照(または本ガイドのP14~17)

はじめてみよう!マニュアルはこちら



*センサ機能を「オン」にすると表示されます。

2. ポンプアップデート後にペアリングする

トランスミッタとのペアリング

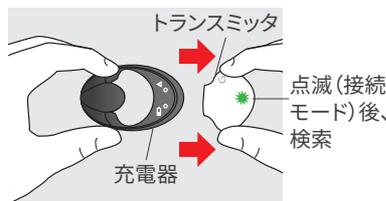
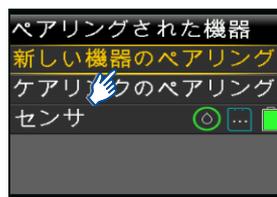
インスリンポンプにトランスミッタを認識(接続)させる方法

以下の手順へ移る前にまずトランスミッタを充電器にセットしてください。

- 1 メニューで「ペアリングされた機器」を選択



- 2 トランスミッタを充電器から引き抜き、「新しい機器のペアリング」を選択する



- 3 検索中ですしばらくお待ちください



- 4 表示された新機器のシリアル番号がトランスミッタの裏面のシリアル番号と一致していることを確認し、「確認」を選択する



- 5 この表示が出れば接続成功



2. ポンプアップデート後にペアリングする

ミニメドモバイルのインストールとペアリング

はじめに

1 事前に準備する

ミニメドモバイルアプリをご使用されるモバイル機にインストールします。

- まず、ご使用されるモバイル機器が対応機器、およびOSバージョンであることをご確認ください。
- Google PlayストアやApple App Storeから、ミニメドモバイルアプリを使用するモバイル機器にインストールします。

※インストールの際は、Wi-Fiまたはインターネット接続が必要です。

【アプリのダウンロード】 【対応機器・OSのリスト】



ミニメド モバイル で検索

セットアップ

2 セットアップの開始

アプリの情報画面の表示に従い確認をして次へ進む。



3 ケアリンクアカウントへログインする

ケアリンクアカウントを既にお持ちであれば、ログインする。

お持ちでない場合は登録をタップし、画面に沿ってアカウント作成後、ログインする。



次ページへ続く

2. ポンプアップデート後にペアリングする

ミニメドモバイルのインストールとペアリング

4 ポンプをミニメドモバイルアプリにペアリングする

1) ペアリング設定の前に確認事項をご確認ください。

3つの記述が全て該当することを確認する。



このマークであることを確認する。



左側のポンプを選択する。



注) 通知がでた場合、通知を許可して、データを利用可能にする必要があります。

2) 次に、ペアリングの設定をします。

左の画面に表示されている手順に従いポンプを操作し、ペアリングを開始する。



警告情報をご確認の上、同意してください。

通知の設定をする場合



ポンプとアプリの両方で通知を受け取りたい場合はオンにします。

アプリで解除するまで、1分毎に通知を繰り返す設定にしたい場合はオンにします。

注) 通知がでた場合、アプリ上で「ペアリング」をタップしてください。

ご使用されているモバイル機器の機種により、画面表示が少し異なる場合があります。

2. ポンプアップデート後にペアリングする

Apple Watch

Watchアプリ



Apple Watch連携方法

ミニメドモバイルアプリを対応するiPhoneでご使用の場合は、Apple Watchでグルコース値などを確認することができます。

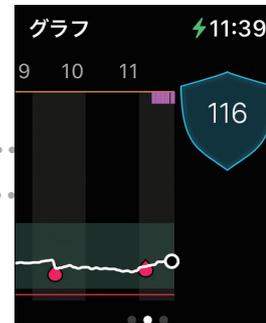
- ① Apple WatchとiPhoneがペアリングされていることを確認
- ② iPhoneにミニメドモバイルアプリをインストールし、ポンプとペアリング(P15~16参照)
- ③ iPhoneのWatchアプリを開き、マイウォッチにある「ミニメドモバイルアプリ」をインストール(設定により自動インストールされている場合あり)
- ④ Apple Watchのアイコンよりミニメドモバイルアプリを選択



【対応機器・OSのリスト】



左へフリック



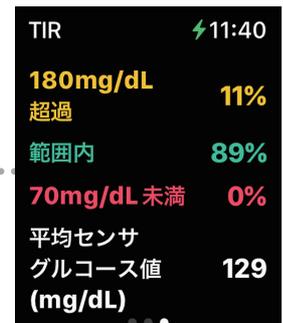
下へ
スクロール



左へフリック



下へ
スクロール



2. ポンプアップデート後にペアリングする

アキュチェックとのペアリング

アキュチェック™*ガイドLink血糖自己測定器の準備

1

血糖自己測定器でOKボタンを押してオンにします。



電源ボタン

2

設定を選択します。



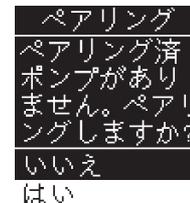
3

無線を選択します。



4

測定器画面に確認画面が表示されたら、はいを選択します。あるいは、確認画面が表示されない場合、ペアリングを選択します。



ポンプの準備

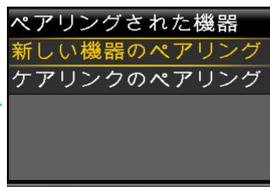
1

メニューから「ペアリングされた機器」を選択します。



2

新しい機器のペアリングを選択します。



3

検索中ですしばらくお待ちください。



4

測定器画面に表示されるシリアル番号と一致する測定器を選択します。正しいシリアル番号が表示されない場合、再検索を選択します。



5

ポンプ画面と測定器画面に表示されるシリアル番号が一致した場合、確認を選択します。



安全、快適に使用するために

サービスの登録をしましょう



ポンプをより安全に、より快適にご使用いただくためのサービスを提供しています。ポンプの使用を開始したら、速やかに以下のすべてのサービスに登録しましょう。登録が済んだらチェックボックスにチェックを入れ、登録漏れのないように確認してください。

チェック!



My PUMP (マイポンプ)



MyPUMPとは?

日本メドトロニックのインスリンポンプをご使用中の**すべてのユーザー**にご登録いただき安全にお使いいただくための情報提供を行う新しいサービスです。

〈ご注意〉

- ご登録にはメールアドレスが必要です。

MyPUMPで何ができるの?

- 製品を安全にお使いいただくための情報を受け取ることができます。
- 取扱説明書やよくある質問などのお役立ち情報を閲覧することができます。
- 連絡先などの登録情報はご自身でも変更ができます。

ご登録内容・ご用意いただくもの

- インスリンポンプ本体・トランスミッタのシリアルナンバー
 - お名前、住所、生年月日(任意) メールアドレス*、電話番号
- *18歳未満の方の登録には法定代理人の同意及びお名前とメールアドレスも必要です。

シリアルナンバーはインスリンポンプ本体よりご確認ください。

620G / 640G : ステータスバー(ホーム画面) >> ポンプ/センサ

770G : メニュー >> ステータス >> ポンプ/センサ

チェック!



My PUMP ご登録方法

1 MyPUMP登録サイトにアクセス



3 メール本文に表示されたログインページURLからマイページにアクセス

メールで送信された登録サイトのURLにアクセスし、サイトの表示に沿って、必要事項の同意、個人情報入力、パスワードを設定してください。

2 MyPUMP登録サイトで必要事項とメールアドレスの入力

メールによる情報配信には、個人情報利用目的の同意とメールアドレスの入力が必須となります。

シリアル番号のご入力ありがとうございます。
以下のURLにアクセスし、本登録をお願いいたします。

◆本登録ページURL

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

※上記URLの有効期間が60分間です。期間内に登録手続きを行ってください。

※本メールはシステムからの自動送信メールです。

所要時間
5分~10分



チェック!



LINE公式アカウント



- LINE配信
製品・安全情報をタイムリーにお届けします。メニューで簡単に操作いただけます。

チェック!



ポンプアクセサリショップ



- オシャレな商品だけでなく、胸元や足等にポンプを装着いただける機能的な商品などをご用意しております。多彩なカラーバリエーションからお選びください。
 - アカウントを作成の上ご注文いただくと、商品をご指定のご住所へお届けします。
- ※アカウント作成には、ポンプのシリアル番号が必要です。

お困りのときは



医療機関連絡先：

- 高血糖や低血糖など体調に異変がある場合
- インスリン量の調整など治療に関する相談が必要な場合
- 患者さんやご家族による対処が困難な場合
- 故障や破損、付属品が足りなくなった場合（ご注文や発送依頼）



日本メドトロニック24時間サポートライン：**0120-56-32-56**

コール ミニ コール

(24時間365日)

- ポンプの使用方法や、アラート、アラーム対応などでお困りの場合



日本メドトロニックウェブサイト：www.medtronic.com/minimed780g

- 製品の使用方法やよくある質問などをご紹介します。



MyPUMP (マイポンプ) に必ずご登録ください

- 製品を安全にお使いいただくための情報提供を行うサービスです



LINE公式アカウント

- 製品・安全情報をタイムリーにお届けします。
メニューで簡単に操作いただけます。



Medtronic

日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

販売名:メドトロニック ミニメド 700シリーズ 医療機器承認番号:30300BZX00256000
販売名:メドトロニック ガーディアン コネクト 医療機器承認番号:22900BZX00321000
販売名:インスリンポンプ 注入セット 医療機器承認番号:225ACBZX00013000
販売名:バラタイム リザーバー 医療機器製造販売届出番号:13B1X00261D00001

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。

© 2023 Medtronic. Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。TM*を付記した商標は、各社の商標です。
ACCU CHECK、アキュチェックは、Rocheの商標です。Apple Watchは、Apple Inc.の商標です。

DIAB2307-10 rev.3

ポンプ
アクセサリショップのご紹介
<https://www.medtronic.com/pumpshoppt>